

# ファーステージ インテリアブラインド ワンポール式 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買いいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。  
お読みいただいたあとは、大切に保管してください。

## ●お取付けになる前にお読みください。



製品重量に耐えられる下地に取付けてください。



- ・付属部品のネジは木部用です。  
木部以外（石膏ボード・コンクリート・鉄板等）への取付けはできません。
  - ・木部以外への取付けは専用のネジ、アンカー等をご使用ください。
  - ・本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。
  - ・この製品は屋内用です。屋外にはご使用できません。
  - ・水まわりや湿気の多い場所には耐水仕様以外の製品は使用しないでください。
- ※つっぱり仕様・つっぱり耐水仕様には、ネジ、ブラケットは付属しておりません。

## ●ご使用になる前にお読みください。



- ・製品にぶら下がったり、無理に引っばったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。
- ・風が強い時にブラインドを上げるか窓を閉めてください。  
製品の破損や思わぬ事故につながる場合があります。
- ・製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。  
製品や置いたものが破損することがあります。



## ●お手入れ方法

- ・日頃のお手入れはハンディモップ等でほこりを取払ってください。
- ・油気の多いところでは、汚れをこまめに拭き取ってください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭き取ってから乾かしてください。  
住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので台所用洗剤をおすすめしています。



子供は思わぬ行動を取ります。大人の常識は通用しません。  
子供をコードで遊ばせないように注意してください。



コードが体にまきついたり、  
引っかかるようなことをしないでください。



小さなお子さまがいるご家庭では、コード類の近くにソファやベッドを  
置かないでください。  
ソファやベッドに上がれば手が届き、事故の恐れがあります。



■事故が起きたり危険を感じたら弊社までご連絡ください。事故の再発防止や安全性の  
向上のため情報提供をお願いします。

## 保証書

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、商品の引き渡し  
日より2年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「スラット部」、「コード類」につ  
きましては、無償修理期間を商品の引渡し日より1年間とさせていただきます。  
外観不良につきましては、商品の引渡し後7日以内にお申し出ください。  
下記の弊社事業所、又はお買い上げ店にお問い合わせください。

- ＊次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
- ・取付上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
- ・機能喪失を伴わない意匠劣化。（さび、樹脂部分の変質、変色、塗装の退色、かびなど）
- ・天然素材の特性による現象。（例 木部の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜けなど）
- ・建築躯体の変形など製品以外に起因する不具合。
- ・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
- ・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による損傷。

日本製

製品改良の為、予告なく仕様変更することがありますので予めご了承ください。

メンテナンスシール貼付位置

**タチカワブラインドグループ  
立川機工株式会社  
ティークーウィンドウズ事業部**

事業部 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-16-4 Tel.03-3370-6871  
大阪営業部 〒531-0071 大阪府大阪市北区中津2-3-5 Tel.06-6372-1625  
<http://www.tachikawa-kikou.co.jp/>

## 【標準仕様・耐水仕様】

### ●取付け方法

#### 1. 取付けブラケットを取付けます。

- ・両端の取付けブラケットがフレームの端から  
4～6cm内側にくるように取付け位置を定め  
てください。
- ※ブラケットが3個以上の場合は位置を定める  
際に、平行になるよう配置してください。

#### カーテンレールに取付ける場合

- ・カーテンレールのキャップストップを外し、ランナーを全て  
取外した後、ブラケットと付属のレールビス（オプション部品）を仮付けた  
状態にしてからレール端部より挿入し所定の位置で固定してください。

#### 2. 製品を取付けます。

- ①製品を完全にたたみ込んだ状態にし、束ねているコード類は  
ほどいてください。
- ②製品を両手で持ち、ヘッドボックス手前のツメをブラケットの  
手前のツメに引っ掛けます。
- ③引っ掛けた状態で左右の位置を決めます。
- ④取付け位置が決まったら、ヘッドボックスを右図のように奥側  
に押し上げてください。ブラケットのツメがかかると「パチン」と  
音がします。
- ⑤ヘッドボックスが確実に固定されているか確認してください。
  - ・セットした時に「パチン」と音がしたか。
  - ・ヘッドボックスがぐらぐらしていないか。

#### 3. チルトポールのジョイント方法

製品サイズによりチルトポールをジョイントする必要があります。  
下記手順の通り、ジョイントしてください。

- ①ジョイントカバーを上げジョイント同士をセットします。
- ②ジョイントカバーを右図のように「カチッ」と音がするところまで下  
げてください。
- ③ジョイント部分が外れないことを確認してください。

### ●取外し方法

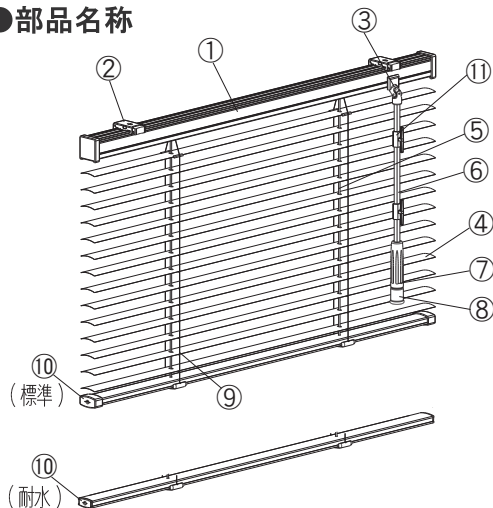
- ①製品を完全にたたみ込んだ状態にします。
- ②製品を手で支えた状態でブラケットのスライドブロックを押すと、  
ヘッドボックス後ろ側のロックが解除され、前面のツメだけが引っ  
掛かった状態になります。
- ③②の状態からヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を  
取外してください。



この際、ブラインドが落下しないよう、必ずしっかり製品を押さえながた取外しを行ってください。  
また、工具などは破損に繋がる為、使用しないでください。

## 【標準仕様・耐水仕様】

### ●部品名称



### ●付属部品

製品幅	ブラケット	ネジ	レールビス
150cm以下	2 個	2 個	2 セット
151cm以上	3 個	3 個	3 セット

- |          |            |
|----------|------------|
| ①ヘッドボックス | ⑧イコライザー    |
| ②ブラケット   | ⑨ラダーコード(※) |
| ③チルトギヤ   | ⑩ボトムレール    |
| ④スラット(羽) | ⑪コードフック    |
| ⑤昇降コード   |            |
| ⑥チルトポール  |            |
| ⑦グリップ    |            |

### ●材質表示（標準 / 耐水）

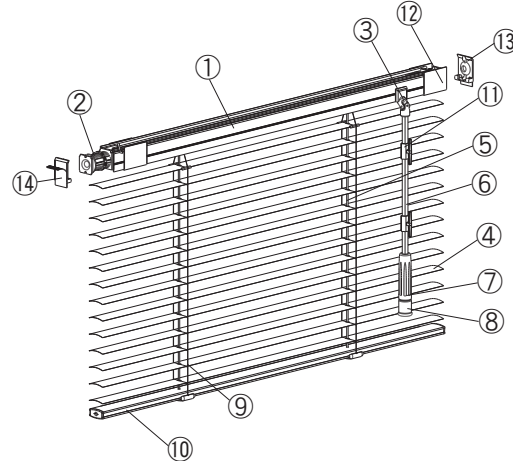
部品名	材 質
ヘッドボックス(標準)	スチール鋼板
ヘッドボックス(耐水)	アルミ押出し形材
スラット	耐食アルミ合金
ブラケット	ステンレス・樹脂
ボトムレール(標準)	スチール鋼板
ボトムレール(耐水)	アルミ押出し形材
チルトポール	樹脂成型品

※耐水仕様のラダーコードはダブルピッチです。

※レールビスはオプション部品です。

## 【つっぱり仕様・つっぱり耐水仕様】

### ●部品名称



### ●付属部品

プレート受け	両面テープ
2個	2個

- |           |            |
|-----------|------------|
| ①ヘッドボックス  | ⑧イコライザー    |
| ②サイドブラケット | ⑨ラダーコード(※) |
| ③チルトギヤ    | ⑩ボトムレール    |
| ④スラット(羽)  | ⑪コードフック    |
| ⑤昇降コード    | ⑫ボックスカバー   |
| ⑥チルトポール   | ⑬プレート受け    |
| ⑦グリップ     | ⑭両面テープ     |

### ●材質表示（つっぱり/つっぱり耐水）

部品名	材 質
ヘッドボックス	アルミ押出し形材
スラット	耐食アルミ合金
ボトムレール	アルミ押出し形材
チルトポール	樹脂成型品

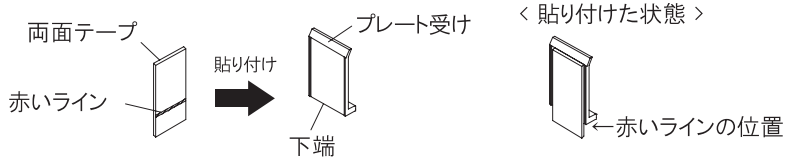
※つっぱり耐水仕様のラダーコードはダブルピッチです。

## 【つっぱり仕様・つっぱり耐水仕様】

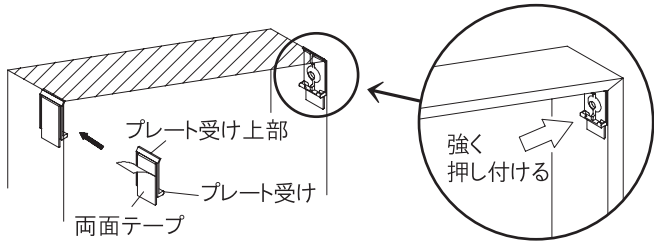
### ●取付け方法（1）

#### 1. プレート受けを取付けます。

- ①プレート受けを貼り付ける壁面の汚れや油分、水滴等を乾いた布等できれいに拭き取ってください。 また、プレート受けの背面も同様に拭き取り、付属の両面テープをプレート受けに貼り付けてください。



- ②貼り付け位置を決めたら、プレート受けを貼付けてください。貼付ける際は、プレート受けの上部を天井面に合わせ、前後左右が水平になるように貼り付けてください。



- ③取付け面にプレート受けを強く押し付け、しっかり貼り付いているか確認してください。

### ⚠ 注意

- ・プレート受けを貼り付ける際に、貼り付け面に汚れ・水分等が付着していると、両面テープの粘着力が弱くなり、製品落下の原因となりますので、必ず、汚れ・水分等は完全に拭き取ってからプレート受けを貼り付けてください。
- ・プレート受けの上部は必ず天井面に合わせてください。 天井面と隙間が空くと固定が不安定となり製品落下の原因となります。
- ・凹凸のある壁紙、布壁、土壁・砂壁、ベニヤなどのザラザラした面には貼り付けられません。
- ・フッ素コーティングなどが施してあるタイル地には取付けられません。落下する恐れがあります。
- ・下地がタイル地の場合、プレート受けがタイル目地にかからないようにしてください。両面テープが剥がれ、製品が落下する可能性があります。
- ・ユニットバスなどに多く用いられる中空樹脂枠を使用した窓枠への取付けはおやめください。突っ張る力が大きくかかるため、取付面の樹脂枠などが破損する場合があります。
- ・プレート受けの位置は、前後左右が水平になるようにしてください。ヘッドボックスが傾いたまま取付けると製品落下の原因になります。

## 【つっぱり仕様・つっぱり耐水仕様】

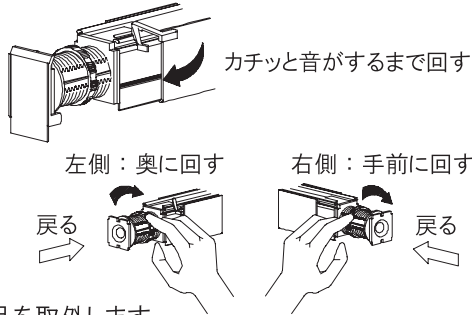
### ●取付け方法（3）

### ⚠ 注意

- ・取付け後プレート受けから出たシール部は絶対にカッター等で切らないで、出たシール部は折り込んでボックスカバーに収めてください。このテープはブラインドを取外す時にシール部を引っ張ると接着面が残らず壁面から剥がれる両面テープを使用しております。（壁面が壁紙の場合、種類によっては両面テープを剥がす際に壁紙が剥がれる場合があります。）
- ・製品本体取付け時には、プレート受けにヘッドボックスが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

### ●取外し方法

- ①スラットを上部にたたみ込みます。
- ②右図のようにレバーを操作し、固定を解除します。



- ③ダイヤルを右図のように緩めます。  
※ダイヤルを操作するときは、製品が落下しないように必ず製品を支えながら作業してください。

- ④プレート受けのツメからサイドブラケットを外し、製品を取外します。

- ⑤プレート受けの下から出ている両面テープを引っ張ると、両面テープがのびてプレート受けが外れます。  
※再度製品を取付ける際は、お手数ですがお買上げ頂いた販売店にて部品手配（両面テープ）をお願い致します。

### ⚠ 注意

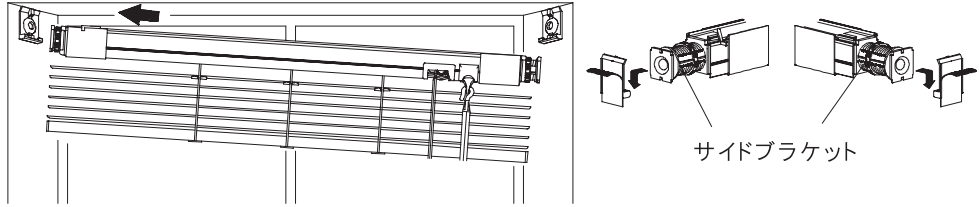
- ・プレート受けを外す際、出ている両面テープを接着面と平行（矢印の方向）に剥がれるまでゆっくりと引っ張ってください。この時、なかなか剥がれない場合は一度に無理に剥がそうとせずに何度か引っ張って徐々に剥がしてください。急激に両面テープを引っ張り剥がそうとしますとテープが切れてしまったり、または壁紙が剥がれる可能性があります。
- ※接着面に対して垂直に両面テープを引っ張らないでください。テープが剥がれてしまう場合があります。
- ※壁紙の種類によっては、両面テープを剥がす際に壁紙が剥がれる場合がありますのでご注意ください。

## 【つっぱり仕様・つっぱり耐水仕様】

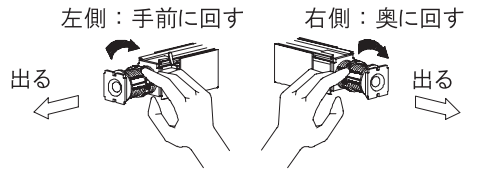
### ●取付け方法（2）

#### 2. 製品を取付けます。

- ①製品を持った状態で左右のサイドブラケットをプレート受けのツメにのせてください。



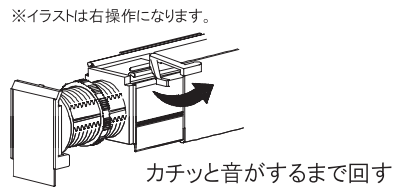
- ②製品と壁面との隙間が左右均等になるように製品の位置を調整してください。
- ③左右のダイヤルが手で回らなくなるまで（固くなるまで）、図のように左右均等に回してください。  
※左右でダイヤルの回転方向が異なります。



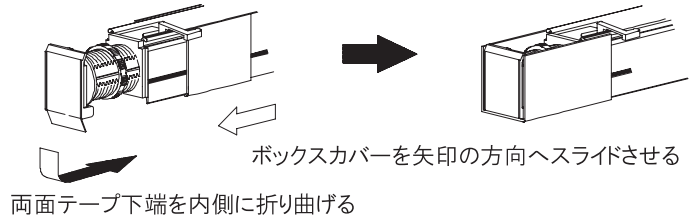
### ⚠ 注意

工具などは破損に繋がる為、使用しないでください。

- ④レバーを右図のように操作して、ヘッドボックスを固定してください。レバーを操作することにより、ヘッドボックスの両サイド（プレート受け）に突っ張る力が加わり製品が固定されます。



- ⑤左右のボックスカバーをスライドさせ、サイドブラケット部をカバーします。このとき、プレート受けを取付ける際に付けた両面テープを、ボックスカバー内に折り込んで収めてください。



- ⑥確実にヘッドボックスがプレート受けに止まっていることを確認してください。

### ●操作方法

#### ①昇降操作

スラットを必ず水平の状態にしてから昇降操作を行ってください。

##### ＜上げるとき＞

昇降コードまたはイコライザーを引き続けると上がります。（図1）

※途中で止まっている状態から上げる場合、引いた手を緩めてブラインドを少し降ろしてから再び昇降コードまたはイコライザーを下に引いてください。手を離すとその位置で止まります。

※昇降コードは2本以上あります。

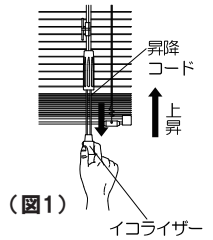
全ての昇降コードを同時に引いてください。

全ての昇降コードを同時に引かないと製品が斜めになることがあります。

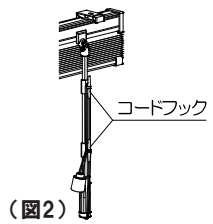
##### ＜コードフックの利用方法＞

ブラインドを上げると、上げた分の昇降コードが引き出されます。

引き出された昇降コードはお子様の手が届かないようコードフックに巻き付けてください。（図2）



（図1）



（図2）

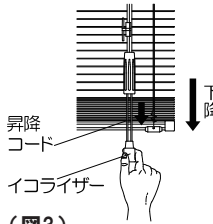
##### ＜降ろすとき＞

コードフックに昇降コードを巻き付けてる場合は、コードをほどきます。

昇降コードまたはイコライザーを少し引き、コードを持ったまま手を緩めてゆっくりと降ろします。（図3）

停止させたい場合は、再び昇降コードまたはイコライザーを引いてください。

手を離すとその位置で止まります。



（図3）

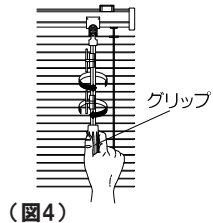
#### ※ブラインドが降りないとき、ストッパーが解除できないとき

商品出荷時には昇降コードが強く引かれてストッパーが固定されます。イコライザーを引きながら、昇降コードを1本ずつ下に引くと、ストッパーが解除されて通常通りに操作ができます。

#### ②開閉操作

グリップを図のように回すとスラットが回転し角度調整ができます。（図4）

※スラットが回転しきると、それ以上は回転しません。無理に回すと故障の原因になります。

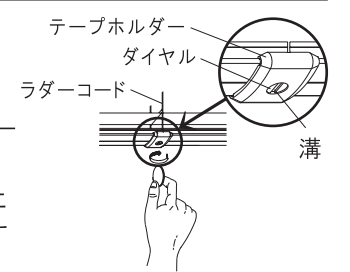


（図4）

**高さ調整機能** 窓枠や床面にぴったりと収めることができます。

**ダイヤル1/4回転で約5mm**

- ①テープホルダーのダイヤルの溝部分にコインを差し込み時計回りに回転させると製品高さを縮められます。製品高さを確認しながら少しずつ調整してください。



- ②調整の際は、ダイヤルの付いている全てのテープホルダーを同じだけ回転させ製品高さを合わせてください。

※万が一縮め過ぎた場合は、ダイヤルを回した方向と逆に回し、ラダーコードを手で引っ張ると元の製品高さに戻すことができます。

### ⚠ 注意

- ・ブラインドがたたみ込まれた状態では高さ調整を行わないでください。
- ・高さ調整で高さを縮められるのはスラット1枚分です。それ以上無理にダイヤルを回さないでください。部品破損の原因となります。
- ※ボトムレールと一番下のスラットとの間に隙間がなくなったら、それ以上無理にダイヤルを回さないでください。